



2022年11月4日

各位

会社名 飯野海運株式会社
代表者 代表取締役社長 當 舎 裕 己
コード番号 9119 (東証プライム・福証)
問合せ先 SR広報部長 羽山 晶子
(TEL 03-6273-3069)

**2023年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異、通期連結業績予想の修正、
剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

2022年8月2日公表の2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記の通りお知らせ致します。

また、本日2022年11月4日開催の取締役会において、2023年3月期通期連結業績予想の修正、中間配当の実施及び期末配当予想の修正について決議しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 業績予想と実績の差異

(1) 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
直近の業績予想（A） （2022年8月2日発表）	百万円 65,000	百万円 7,900	百万円 8,000	百万円 10,500	円 銭 99.24
実績値（B）	70,474	10,482	11,835	14,421	136.30
増減額（B－A）	+5,474	+2,582	+3,835	+3,921	
増減率（％）	+8.4%	+32.7%	+47.9%	+37.3%	
（ご参考）前年同期実績 （2022年3月期第2四半期）	48,981	1,821	1,540	4,166	39.38

(2) 差異の理由

主にケミカルタンカーやドライバルク船市況が想定より高い水準で推移したことや、当第2四半期に予定していた一部の船舶の入渠修繕が第3四半期以降に延期となったことにより、営業利益は直近の業績予想を上回りました。また、当第2四半期に為替が大きく円安(対US\$)に振れたこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は直近の業績予想を大幅に上回りました。

2. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
直近の業績予想（A） （2022年8月2日発表）	百万円 123,000	百万円 11,800	百万円 12,100	百万円 14,100	円 銭 133.26
今回予想（B）	138,000	14,700	16,200	18,600	175.80
増減額（B－A）	+15,000	+2,900	+4,100	+4,500	
増減率（％）	+12.2%	+24.6%	+33.9%	+31.9%	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	104,100	7,524	9,431	12,526	118.39

(2) 修正の理由

上述の通り、当第2四半期連結累計期間の業績は直近の業績予想を上回りました。第3四半期以降においては、ドライバルク船市況の軟化や、当第2四半期から延期となった一部の船舶の入渠修繕の実施を織り込んでいますが、ケミカルタンカー市況が今後も高い水準で推移すると見込まれることや、為替相場の円安傾向も踏まえ、通期連結業績予想の修正を行いました。

直近の業績予想及び今回予想における為替レートと船舶燃料油価格は、以下の通りです。

※第3四半期以降の為替レート及び船舶燃料油価格の前提

<直近の業績予想発表時の前提>

為替レート 125円/US\$

船舶燃料油価格 US\$910/MT

[油種：適合燃料油(Very Low Sulfur Fuel Oil) 補油地：シンガポール]

<今回発表予想前提>

為替レート 140円/US\$

船舶燃料油価格 US\$800/MT

[油種：適合燃料油(Very Low Sulfur Fuel Oil) 補油地：シンガポール]

3. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2022年8月2日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株当たり配当金	27.00 円	20.00 円	11.00 円
配当金の総額	2,857 百万円	—	1,164 百万円
効力発生日	2022年11月28日	—	2021年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
直近の配当予想（2022年8月2日）		20.00 円	47.00 円
当 期 実 績	27.00 円		
今 回 修 正 予 想		26.00 円	53.00 円
前期(2022年3月期) 実績	11.00 円	25.00 円	36.00 円

(3) 理由

当社は長期的な企業価値の向上によって安定配当を継続することに加え、配当額と利益成長との連動性を高めるため、通期業績に対して配当性向30%を基準とした配当を継続していくことを基本方針としております。

2023年3月期通期連結業績予想の修正の通り、当期の業績は直近の業績予想の発表時(2022年8月2日)から改善する見込みです。業績の改善見込みと前述の基本方針に基づき、当第2四半期末の1株当たりの配当金につきましては、直近の配当予想（2022年8月2日発表）から7円00銭増額の27円00銭とすることを、2022年11月4日開催の取締役会で決定しました。期末配当につきましては、直近の配当予想から1株当たり6円00銭増額の26円00銭、通期で53円00銭の配当を予定しております。

当社としては引き続き業績の向上に向けて努力すると共に、今後の利益水準及び財政状態や株主還元策を総合的に勘案して、期末配当金について決定する予定です。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上